



会 議 録

八幡市教育委員会

開催日時	令和元年8月29日（木曜日） 午前10時00分～午後11時55分		
場所	文庁舎2階 会議室A		
出席委員名	谷口 正 弘（教育長） 松下 順 英（職務代理者） 橋本 陽 生	佐野 恵理子 人見 妃都美	
委員を除く出席者の職・氏名	部 長 佐野 正 樹 部 次 長 川 中 尚 教育総務課長 山 中 友 順 学校教育課長 辻 博 之	学校教育課主幹 福 田 昌 弘 学校教育課主幹 小 野 雅 也 教育総務課長補佐 小 林 聡 美 教育総務課 大 崎 茂 夫	

1. 開 会

2. 議 題（協議事項）

- (1) 令和2年度以降使用小学校教科用図書及び令和2年度使用中学校教科用図書に係る採択について

3. その他

- 6月分議事録(写)の配付
- 市立各幼稚園、小・中学校令和元年度運動会・体育大会出席者(案)について

4. 閉 会

※次回定例教育委員会

日時：9月17日（火）（午後3時から）

場所：会議室A

※学校訪問先は有都こども園（10：30）と有都小学校（11：30）です。



	内 容
[教 育 長] [山 中 課 長]	<p>定刻となりましたので、8月の臨時教育委員会を開催します。</p> <p>はい、教育長。本日の臨時教育委員会に1名の方から傍聴の申し出がございますので、報告いたします。</p>
[教 育 長]	<p>今、事務局より報告のありました1名の傍聴の申し出に対しまして、委員会の傍聴の取り扱い、八幡市教育委員会傍聴規則第1条で教育長の許可を得たものは、傍聴する事ができると規定されておりますが、委員の皆さんより何か、意見はありませんか。意見が無いようなので、教育長として可否を述べます。教育長として、傍聴を許可したいと思います。事務局から傍聴人に入場するように伝えてください。</p> <p>《傍聴人が入場し着席》</p> <p>1. 開 会</p> <p>今回は、令和2年度以降に山城地区の小学校において使用する教科用図書並びに中学校教科用図書について、採択をする会議でございます。</p> <p>委員の先生方には、6月初め頃からたくさん検定済の教科書を検討していただきましたので、ご意見等を積極的に言っていただけたらと思います。先日、7月19日に山城地域の地区協議会が、開かれて、山城地方で使用する教科書が選定されまして、その事も事務局の方から報告をいただきながら、積極的なご意見をいただき、採択いただければと思います。それでは、まず、地区協議会の説明からお願いします。</p> <p>2. 議 題（協議事項）</p> <p>(1) 令和2年度以降使用小学校教科用図書及び令和2年度使用中学校教科用図書に係る採択について</p>
[川 中 次 長]	<p>失礼します。まず、第2回山城教科用図書採択地区協議会は、出席委員20名が全員出席し成立しております。</p> <p>まず、会長より選定についての基本的な観点が提示されました。</p> <p>1点目 山城地区において学力向上は、大きな課題の一つである。特に児童・生徒が、主体的に学習に取り組める工夫や児童・生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図るための配慮等があるかといった学力向上の視点</p> <p>2点目 教育を取り巻く多様な価値観がある中、公教育として、多種多様な意見がより反映されているか、公平性が担保されているかの視点。</p> <p>3点目 管内教員の若年化に伴い、授業の質を担保する上でも、若手教員でも授業で使いやすいかどうかの視点。</p> <p>4点目 児童・生徒が、親しみやすく、使いやすく、そして、主体的・対話的に学習に取り組むことが出来るかどうかの視点、以上四点を観点として、協議がなされました。</p> <p>中学校の教科用図書については、平成30年度検定において、新たな図書の申請が無かったため、前回の平成26年度検定合格図書の中から採択することとなり、文部科学省の見解や京都府教育委員会の助言もいただいた中で、この4年間、山城地域において使用している教科書の使用実績を踏まえ、新学習指導要領を実施するまでの1年間の暫定的な教科書でもあることから、改めて調査研究を行うことはせず、平成27年度採択における調査報告書を活用し、現在使用している中学校教科用図書を全員一致で選定されました。なお、中学校「特別の教科 道徳」については、昨年度に採択していますので、今回採択の対象とはなっていません。</p> <p>小学校の教科用図書の選定ですが、まず教科ごとに順次代表調査員から10分程度調査・研究の報告をして頂きました。調査報告は、府教育長通知である「平成32年度使用義務教育諸学校（小学校及び中学校（特別の教科道徳を除く））及び特別支援学校（小・中学部）並びに特別支援学級の教科用図書の採択基準及び基本観点について」を踏まえ調査・研究が行われたものでございます。報告の後、代表調査員に質問を行い、その後代表調査員には退席していただき採択委員のみで協議し、1種類を選んでいただくという流れで選定が行われました。今回については、すべて全員一致で採決されております。</p>



[教育長]	<p>以上、報告させていただきます。</p> <p>はい、ありがとうございます。7月19日の採択地区協議会についての報告がありましたけれども、只今の報告につきまして、質問、ご意見は、ございませんか。</p> <p>それでは、中学校教科用図書の採択協議に入りたいと思います。はじめに事務局から説明してください。</p>
[川中次長]	<p>中学校教科用図書については、平成30年度検定において、新たな図書の申請が無かったことから、改めて調査研究は行わず、平成27年度採択における調査報告書を活用し、中学校教科用図書を選んでいただくこととなります。平成27年度の調査報告書は【資料別冊4】となります。この資料をもとに、ご協議をお願いいたします。</p>
[教育長]	<p>なお、平成27年度において、共同採択された教科書は、国語「東書」、書写「光村」、社会地理分野「帝国」、社会歴史分野「東書」、社会公民分野「東書」、地図「帝国」、数学「大日本」、理科「啓林館」、音楽一般「教芸」、音楽器楽合奏「教芸」、美術「日文」、保健体育「東書」、技術家庭技術分野「開隆堂」、技術家庭家庭分野「開隆堂」、英語「東書」となっています。</p>
[教育長]	<p>それでは、中学校教科用図書について、何か、御意見等はございませんか。</p>
[橋本委員]	<p>今、事務局のほうからも説明がありましたけれども、平成30年度の採択においても、新たな図書の申請がなかったということと、平成27年度採択して、本年度の4年間、使用してきているわけですが、特に大きな支障を聞いておりませんので、このまま継続することでもいいのではないかと考えております。以上です。</p>
[教育長]	<p>中学校教科用図書については、現在、使用している教科用図書でどうかという意見がございました。</p>
[川中次長]	<p>それでは、現在使用している、中学校教科用図書 国語「東書」、書写「光村」、社会地理分野「帝国」、社会歴史分野「東書」、社会公民分野「東書」、地図「帝国」、数学「大日本」、理科「啓林館」、音楽一般「教芸」、音楽器楽合奏「教芸」、美術「日文」、保健体育「東書」、技術家庭/技術分野「開隆堂」、技術家庭/家庭分野「開隆堂」、英語「東書」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《委員全員挙手する。》</p> <p>全員一致して御賛同いただきましたので、中学校教科用図書については、先ほど読み上げました各教科書を採択するものとします。</p> <p>これから順次、令和2年度以降使用小学校教科用図書採択を行いたいと思います。</p> <p>それでは、まず事務局から説明をお願いします。</p>
[川中次長]	<p>小学校の調査報告書ですが、資料は、別冊の3になります。この資料をもとに、ご協議をお願いいたします。なお、当該調査報告書は、平成32年度使用義務教育諸学校及び特別支援学校並びに特別支援学級の教科用図書の採択基準及び基本観点についてを踏まえ、調査・研究が行われたものでございます。調査報告書については、各発行者の優劣をつけることが目的ではなく、努めて各発行者の特徴を記入していただいております。</p>
[教育長]	<p>ただいまの説明について、御質問ございませんか。質問がないようですので、続いて協議事項に移らせていただきます。まず最初に、国語から行います。協議会の選定は、光村図書出版でございます。協議会が光村図書出版を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p>
[川中次長]	<p>国語について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、国語については、「情報の扱い方に関することで特徴的なことは。」という質問に対し、「東京書籍は各単元に関連付けて設定、学校図書は単独での演習、教育出版は教材の中で説明、光村は、情報のページを設けている。」とのことでした。また、「主体的・対話的な学習を進める上で特によいものは？」との質問に対し「東書は言葉の力を明確にし、学習過程を設定している。学校図書、教育出版は、東書まで詳しくない。光村は見開きで学習の流れを新指導要領の三つの資質能力に分けて明記してある。」とのことでした。「山城の子どもたちにとってどちらがよりよいか？」との質問には、「東書が具体的にやるべきことを書いてあり、光村は言語活動を通して資質能力を育てようという設定であり、どちらも捨てがたいとの意見があった。」とのことでした。</p>



	<p>思考力を高めるために実際に若い先生が教えるということを見ると、光村図書については、難易度が高い部分も多い。東京書籍は、話す・聞く・書く等、若い先生が教えにくいところも懇切丁寧に解説してある。」また、「話し合い活動等の言語活動を進めていく上で、使いやすいと思われた教科書は。」という質問に対し、「本当に中身を深めていくためには、作品の質と深くかかわるので、作品に観点を置けば、光村が掲載作品の質が高く深めやすいと思う。東京書籍は、学び合い、話し合いの手順についてもおさえているので、取り組みやすい。」次に、「古典や文学作品、日常生活に関するもの、あるいはドキュメンタリー等、幅広く掲載されている教科書はどれか、児童が自主的に学習に取り組むことへの配慮がなされている教科書は。」という質問に対し、「光村図書は自然科学という部分が非常に多い。自然科学は読みが深めやすい。他の教科書についてはバランスよく、東京書籍については歴史とか社会とか科学、そういうものもバランス良く取り扱っている。」ということでした。</p>
[教育長]	はい、ありがとうございます。事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。
[松下委員]	山城の協議会では、報告のあった通り光村図書の方向でまとまったのですが、光村の教科書は、今回の改定で説明文をかなり変えています。新しい現代課題に対応して、6年生の説明文教材を変えています。また、光村が見開きで学びのやり方、学習課程が載っていて、三つの資質・能力での3観点の振り返りをしているというあたりのところは、新しい学習指導要領に向けての改善点と感ずることができましたので、総合的に光村が良いのではないのでしょうか。
[教育長]	ありがとうございます。そのほかの委員の方向かございますか。
[人見委員]	先ほどのお話のとおり、光村は新学習指導要領の内容を推されて、教材を変えてきており、その教材で教えるというわけではなく、教材を通して読解力、読み取る力を教えるというあたりのことを、光村では大切にしていると思えました。子どもたちに読んで感じて考えてほしい題材が多く収録されていたり、各学年のおすすめには関連した図書の紹介もあり、興味をもった先に繋がりやすいヒントが盛り込まれており光村が良いと思います。
[教育長]	ありがとうございます。そのほかは、如何ですか。
[橋本委員]	新しい学習指導要領に対応するという事で、どの出版社も非常に工夫されていると感じました。なお特色がそれぞれにあり甲乙が非常につけにくいので苦労しました。先ほどの説明にもありましたが、言語活動や主体性の展開が容易なものが強調されていたと思います。言語活動や主体性の展開が容易な観点から判断すると光村の場合は、上下2段に分けた学習課題の展開の示し方として、問題の発見から対話的な活動を通じて深い学びに至る活動ができる学習の見える化の部分と他と比較すると優れていると思います。教師の創意工夫は、光村のほうが出るだろうなと感じました。
[教育長]	全ての教科書は、甲乙つけがたいものがありますが、八幡市の子どもたちには、光村が良いのではないかというご意見を伺いました。 国語についての採択を行います。本市は、国語の教科書として光村図書出版を採択することを賛成する委員の方は、挙手をお願いします。 《委員全員挙手する。》 全員一致で光村図書出版・「国語」を採択します。続いて書写の教科書採択へ移ります。それでは、次に書写についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、東京書籍でございます。協議会が東京書籍を選定した理由を事務局から説明をお願いします。
[川中次長]	書写について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「学習内容を他教科あるいは日常生活に活かす工夫で優れているのは。」という質問に対し、「どこの社も行っている。」とのことでした。東書の書写の鍵の評価についての質問には、「学年ごとに系統的であることが、こどもにはよいのではないかとこの意見があった。」とのことでした。
[教育長]	はい、ありがとうございます。事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。
[佐野委員]	東京書籍ですが、教科書のサイズがB5版よりやや大きめになっていて見やすいと思いま



した。先ほどの話の中にもありましたが、「書写の鍵」のコーナーには、書写の学習で、自分で見つけた言葉をここに入れていかなければならなくなっているのですが、そこで思考が働くということで、主体的な学習につながると思いました。また、横にインデックスがついていて、今までどこで何を勉強してきた、書き方の点、画のどういうところ、はらいを勉強してきたとか、全部ここに載っているの、振り返りもしやすいのではないかと思います東京書籍が良いと感じました、

[教育長] ありがとうございます。そのほかの委員の方向かございますか。

[人見委員] 東書の教科書は、国語の教科書で扱う教材文や言語活動を教材に入れてあります。今回、指導要領に書かれている配慮事項に、1年生、2年生の指導は、適切に運筆する能力の向上につながるように指導することとありますので、シートがついていて、運筆の体験ができるようになっているのもよいと思いました。また、鉛筆の持ち方を教えることに悩みましたが、東書の教科書では様々な角度から丁寧にわかりやすく解説されていてところが良いと思いました。

[教育長] ありがとうございます。他如何ですか。

[松下委員] 追加で東書の教科書が良いと思った点を3点申します。1点は、1年生への鉛筆の持ち方の指導、右手左手の両方の写真が載っているのは東書だけです。2点目は、3年生から始まる毛筆に向けての1、2年生の水書きが体験できるようになっている。3点目は、原寸大の教材が多数掲載されていることを総合し配慮が行き届いている東書を推薦します。

[教育長] ありがとうございます。委員の方々も東京書籍が良いという意見だったと思います。

それでは、書写について東京書籍・「新しい書写」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。

《委員全員挙手する。》

全員一致で東京書籍・「新しい書写」を採択します。

続きまして、次に社会についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、日本文教出版でございます。協議会が日本文教出版を選定した理由を事務局から説明をお願いします。

[川中次長] 社会について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「思考力・判断力・表現力」の工夫や違い調査員の評価は。」との質問には、「東京書籍は、「調べる」で、その後吹き出しなどで問いを出す形で、教育出版は、この時間の問いというところで、見つけるような工夫を、日本文教出版は、確かめる、見つけると、そういうふうにして順を追って、見つけさせた後、考えるというのも設けておきまして、思考力を育成させようとしております。思考力、判断力、表現力の思考力という面では、日本文教出版、考えるというところも視点をしっかり設けて問うている。」と評価したとのことでした。

また、「領土の観点は？」との質問には、「領土につきましては、東京書籍と教育出版については、竹島、尖閣諸島、北方領土を写真で、日本文教出版のほうは、竹島と尖閣諸島を写真で教科書に載せており、表現の違いはない。」とのことでした。

あと、「6年生の歴史分野での厳しく差別された人々の記述」について質問があり、「渋染一揆なども扱っておりましたし、水平社の部分については、教育出版と日本文教出版では、山田少年を使つての、登壇して演説しているところを載せてあった。」とのことでした。

[教育長] はい、ありがとうございます。事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。

[佐野委員] 日文ですが、基礎的、基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫、配慮について、キーワードとしてるび付で明示し、説明をつけています。また、本文でもるび付、太字表記で注目しやすくしています。難しい言葉のコーナーを設け、わかりやすく説明しております。思考力、判断力等では、学び方、調べ方コーナー「読み取る」で、確かめる、見つける、考えるという視点の問いを設け、その解決を通して、育成する工夫がなされています。また、単元のまとめの段階で、学び方コーナー「表現する」で、文章でまとめる、発表する、話し合うなど、言語活動を重視して、多様な表現活動を提示し、思考力、判断力、表現力を育成できるようにしています。このように新しい学習指導要領の具現化には、日文が良いのでは、



[橋本委員]	<p>ないかと思えます。</p> <p>社会科の科目と言えば、領土問題、差別問題などのデリケートな問題の現場での扱い方が、非常に気になる点です。社会が変化していく中新しい学習指導要領にそって、思考力や判断力が大切になってくると思えます。私としてはその部分の工夫や配慮の面に興味を持ちました。教科書を分冊している書籍と一冊の書籍があります。日文は一冊にまとめられています。歴史と地理、公民等がまとめられています。学習指導要領の社会の部分を見ると3点あり、1点は、我が国の政治の動き、国、地方公共団体等について書かれています。2点目は、我が国の歴史、3点目はグローバル化する世界と日本の役割です。</p> <p>日文の構成を見ますと学習指導要領に忠実に構成されており、全体的に有機的に総合的な学習の時間、多様なものに結び付け考え、一体化しようとする授業展開をするには、やり易いと思えます。</p> <p>日文は、さらに考えたい問題を設定し、課題解決に向けて、社会のかかわり方を選択、判断したり、考えたりすることができるようになっており、また、巻頭で、当該学年の社会科の学習で大切なことを示し、目次に、各単元で考えていく内容を吹き出しで示し、学習に見通しが持てるようにしています。また、この教科書の使い方で、学習手順を示し、問題解決的な学習が展開できるようになっています。社会的な見方・考え方についても、見方、考え方コーナーを、空間、時間、関係の三つの視点に分けて設定、社会的事象をどのような視点でとらえ、考えたらよいか、その方法を示唆し、問題解決的な学習が展開できるようになっており、より良いのではないかと考えております。</p>
[教育長]	<p>ありがとうございます。委員の方々も日本文教出版が良いという意見だったと思えます。</p> <p>それでは、社会について日本文教出版・「小学社会」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《委員全員挙手する。》</p> <p>全員一致で日本文教出版・「小学社会」を採択します。</p> <p>それでは、次に地図についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、帝国書院でございます。協議会が帝国書院を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p>
[川中次長]	<p>地図について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「学習内容が充実しているのは具体的には。」との質問に対して、「日本の自然や産業、貿易、自然災害、防災等の学習内容のページが、帝国は14ページ、東書は6ページで、歴史に関するものは、帝国2ページ、東書は6ページ。」との説明がありました。また、「帝国の地図マスターへの道についての評価について」は、「地図学習の学年ごとの到達目標が設定もされており、地図帳をめくって行って、目標達成の喜びにもなりますし、次学年への意欲的な取り組みにつながる工夫されたもの。」と調査員の方から報告がありました。</p> <p>また、「3年生から配布されることになることへの配慮などは？」との質問に「どちらも丁寧な説明になっており、大きく表記して、ページ数も多くさいているのが、帝国かなということでした。3年の子供たちでも、理解が進むのではないか。」ということでした。</p> <p>以上です。</p>
[教育長]	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>地図に関しては、東京書籍でしたが帝国に変えるとの説明でした。これについて委員の方々何か意見はございませんか。</p>
[佐野委員]	<p>地図帳の配布が3年生からになるということが、今回は大きいだろうなというふうに思っています。その点において帝国の方では1/160万を配置して3年生においても地図活用の導入期に配慮されており丁寧な地図帳ということも大切な視点かなと思えます。また、4年間使うわけですから、前学年の振り返りがしやすく、先の学年を見通すことで理解できるように丁寧な記述がされている帝国の方がよいように思いました。</p> <p>また、直接内容には関係ないのですが、帝国は、紙の重さを1枚当たり15%軽くしているという点は、子どもたちの負担を考えても、配慮がなされていると思えます。</p>
[教育長]	<p>教科書の重さまで配慮されているという事ですね。他は如何ですか。</p>



[人見 委員]	<p>まず子ども達は、自分が住んでいるところを探した後、各都道府県の様々な特徴を絵で見て知ることができます。その延長上に世界が広がっていたり、先ほど説明がありました地図マスターへの道という設問で沢山の知識を学べる非常に楽しい教科書だと思います。</p> <p>帝国には、防災マップ作りのコーナーがあり、総合的な学習の時間などでも活用できるのではと思いました。本市でも大きな災害があり、子ども達に防災教育を進めていかなければならないと思うのですが、その取っ掛かりにもなると思いました。</p>
[教育 長]	<p>はい、ありがとうございます。山城教科用図書採択地区協議会では帝国書院が採択されましたが、その大きな理由としては、3年生から使用するという点と防災マップも一つの重点だという意見もありました。</p> <p>それでは、地図について帝国書院・「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《委員全員挙手する。》</p> <p>全員一致で帝国書院・「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」を採択します。</p> <p>それでは、次に算数についてよろしくお願いします。協議会の選定は、啓林館でございます。協議会が啓林館を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p>
[川中 次長]	<p>算数について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「プログラミング教育に取り組みやすいものは」との質問に、「東書については、5・6年では単元の学習と関連させた特別ページが設定されており、大日本については、プログラミングに挑戦しようという内容で、無料のスクラッチというプログラムを使っている。スクラッチは、他に日文とかも使用しています。啓林館については、Pマークというのがついてある、そのプログラミング的思考、ここで意識しなさいよというふうに、教師がわかりやすいようなマークがついている」とのことでした。</p> <p>また、「算数のつまずきや生活に算数を生かすといった視点」の質問に対して、「演算決定でつまずく子が多く、演算決定を説明するために、各社ほぼ全部が使っているのは、テープ図や数直線図であるが、啓林館では、関係図を使っており、演算決定がすごくわかりやすいようにという工夫がされている。生活に活かすのは、啓林館は、単元が終わったところで、学んだことが実際の生活の中で使われていることを掲載し、確認するようになっている。」とのことでした。「主体的な学びにとってより良いものは。」との質問には、「どの教科書も意識して書かれており、学校図書であれば、はてなを発見というところ、教育出版でのどんな学習が始まるかな、啓林館では単元のとびらであるとか、あと日文では、次の学習のために、それぞれネーミングは違うが、どこの会社も日常の生活から疑問を必ず引き出して入っていくという形にはなっている。」とのことでした。</p> <p>「単元の配置については？連続配置か分離配置かその評価は？」については、「調査員の中で、意見が分かれ、どちらがいいというのは、なかなか難しいなという話になったそうです。「ユニバーサルデザインの考え方や工夫について」の質問には、「教科書を開いたときに、児童に、1時間の授業の流れが見えるほうが、UDの視点になると思うが、東書と啓林館については、基本的に2ページまたは1ページで1時間の配分、そのほかの4社については、すべてがそうなっている訳ではない。」とのことでした。</p> <p>以上です。</p>
[教育 長]	<p>はい、ありがとうございます。事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。</p>
[松下 委員]	<p>算数についての私の拘りは、ただ1点です。小学校6年間の中で算数が嫌になるのは4年生あたりからだと思います。それは、具体の思考から抽象思考にどう移っていくかということが、大きいと思っています。それについて非常に配慮されている教科書は、啓林館だと思います。また、生活に結びつくような配慮ができるだろうと思います。そういった意味から、啓林館がいいのではないかなというふうに考えています。</p>
[教育 長]	<p>はい、ありがとうございます。他にありますか。</p>
[佐野 委員]	<p>先ほども出ていましたけれども、関係図ですね。これについては、やっぱり算数・数学と</p>



	<p>かのつまずくところは、自分の頭の中で、そういう図なり式なりが浮かぶかどうかという思考が大切であり、図で考えたらいいかということ、きちっと理解していれば、より発展的な内容についても理解が進んでいくのではないかなというふうに思いました。それと、あとページの構成の仕方というのは、やはり、見開きで完結するというのは、児童にとってもよりわかりやすいのではないかと思います。学びのサポートを巻末に設定して説明の方法や図の作成の仕方をまとめた算数資料集を収録して個々に合わせた学びが実現できるよう工夫されている点などそういうところで、啓林館が望ましいのかなというふうに思います。</p>
[教育長]	<p>ありがとうございます。 それでは、算数について啓林館・「わくわく算数」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。 《委員全員挙手する。》 全員一致で啓林館・「わくわく算数」を採択します。</p>
[川中次長]	<p>それでは、次に理科についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、啓林館でございませぬ。協議会が啓林館を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p>
[川中次長]	<p>理科について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「問題解決能力の育成」についての質問に対して、「基本、どの教科書も、課題を設定し、予想し、調べる計画、実験・観察、考察、まとめ、振り返りという流れがある。啓林館と他4社がアイコンでどの会社もきちんと目立つように整理されて、問題解決に向けて、流れが図示されている。啓林館では、実験の途中で次のページに飛ぶことがないので、やる事が完結していくようなページ組みも工夫されている。」と回答がありました。また、「系統性についてはどうか。」という質問には、「系統的にそれぞれの分野ごとに整理はされているし、啓林館は、安心感がある整理をされているなど、どの調査員も言っていた。」とのことでした。</p>
[教育長]	<p>はい、ありがとうございます。事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。</p>
[橋本委員]	<p>説明にもありましたが、初見で分かりやすいのはどれかといえば、確かに啓林館は、分かりやすいと思います。2ページで完結しているところが、落ち着きがあり整理もできています。どの教科書も実験、結果、考えよう、まとめ的な展開をしています。啓林館の場合は実験、結果、考えよう、まとめが1本のラインで繋がっており展開の見通しが分かりやすくなっているところは同感です。優劣は付けがたいのですが実験要素の分かりやすさやまとめ方の整理等は啓林館が優れているかと思いました。</p>
[教育長]	<p>はい、ありがとうございます。委員の方々他に何かありますか。</p>
[人見委員]	<p>啓林館では、単元の学習の後に、つなげようという欄がありまして、これは世界のいろいろな、実際、稼働している様々な産業や事柄、システム等に学習したことが使われていると、発展的に現在の生活とつなげようとしています。難しいイメージの理科ですが、生活に身近な現象を考えると理科で説明されていることが多いので、分かりやすく楽しく学べるきっかけになる教科書だと思いました。そこに非常に魅力的に感じました。</p>
[教育長]	<p>はい、ありがとうございます。</p>
[教育長]	<p>それでは、理科について啓林館・「わくわく理科」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。 《委員全員挙手する。》 全員一致で啓林館・「わくわく理科」を採択します。</p>
[川中次長]	<p>それでは、次に生活科についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、啓林館でございませぬ。協議会が啓林館を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p>
[川中次長]	<p>生活について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「保育園、幼稚園や、3、4年生、他教科への接続で特徴的なものは。」との質問には、「スタートカリキュラムや3年生とのつながりはどの会社も意識してつくっている。単元の中の流れを見た場合、啓林館では「めぐりことば」というのが書いてあり、次のページへと子供たちの興味をつなげていく工夫がされていた。」とのことです。</p>



「体験学習について、山城の子ども達に合っているものは？」との質問には、「どの会社も、体験活動は重視している。比較して上げるとすれば、東書ですけれども、2年生の町探検で、子ども達から電話をかけて、相手にコンタクトをとって、そこからはいつている。実際の授業の中では、かなり難しい。啓林館でしたら、一斉の指導という形でできているので、どちらかというと、山城の子供たちにとっては啓林館のほうが良い。」との回答でした。

「学習意欲を高める効果が期待できるのは」との質問に、「学習意欲について 啓林館では、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」と、子供たちにとって理解しやすいような表現であり、写真とか絵とか、挿絵とか、やっぱり見やすさがあるかなというのは感じる。」とのことでした。

以上です。

[教育長]

はい、ありがとうございます。事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。

[松下委員]

生活科については、やはり生活科は体験活動によって、いかに内容を濃くしていくかにかかってくる学習だと思います。どこも相当それを工夫されていますが、啓林館を見ますと、体験活動の手順といいますかね、比較的わかりやすく具体的に示されているのではないかなという印象を持ちました。子供たちもそういうことですから、なじみやすいのではないかなということでした。

[橋本委員]

私の注目点は、幼稚園、保育園からの接続や3年生から4年生への接続、学校接続、学年接続、がポイントです。また、総合的な学習時間としての生活等を中心に見ると幼稚園、保育園の遊び、発達の段階から学校の生活の中に接続しているかだと思います。スタートカリキュラムを添付するなど非常に配慮されている。啓林館の中で、工夫してあるかなと思ったのは、ハートマークで示されている道徳とかの関連づけと、自分の学びとか成長のあとを振り返るといような、心の教育にも配慮されているようでありますので、啓林館がいいのではないかと私は思います。

[教育長]

はい、ありがとうございます。それでは、生活科について啓林館・「わくわく せいかつ」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。

《委員全員挙手する。》

全員一致で啓林館・「わくわく 生活」を採択します。

それでは、次に音楽についてよろしく申し上げます。協議会の選定は、教育芸術社でございます。協議会が教育芸術社を選定した理由を事務局から説明をお願いします。

[川中次長]

音楽について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「音楽づくりのために主体的・対話的な学習への取組について」の質問に対して、「音楽づくりに関しましては、教芸は、ちょっと音楽が苦手な教師にも配慮されている。簡単に和音づくりができる工夫や、吹き出しで話し合いの仕方を明示したりしている。」とのことでした。

「子どもにとって全体としてよいものは？」との質問に、「教出はとてもかわいらしくつくってあるが、色も絵もたくさんあり、見やすいだろうかと調査員では話していた。教芸は、シンプルだが、子供たちにはわかりやすく、使いやすいのでは。」とのことでした。

[教育長]

はい、ありがとうございます。事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。

[人見委員]

教科書のシンプルさや音楽が苦手な先生がやりやすいこと、また最初のページに、何年生の学習かについて、1年間の学習の見通しあるいは課題が書いてあるというのも、わかりやすいと思いました。このような理由から教芸のほうが良いと思いました。

[教育長]

はい、ありがとうございます。教芸が音楽の苦手な先生へ配慮があるとのことでした。他にご意見は、ございますか。

[松下委員]

2点ほど教育芸術社の良いところを申し上げます。1点は、生活の中の音から音楽に繋がったり音楽を通して人と人とのつながりを持つことを分かりやすく説明されている点と「歌いつなごう日本の歌」というタイトルで日本の伝統ある歌を掲載しており日本語の美しさに触れられる歌などを取り上げて、心を育てる視点もよいと思いました。



[教育長]	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは、音楽について教育芸術社・「小学生の音楽」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《委員全員挙手する。》</p> <p>全員一致で教育芸術社・「小学生の音楽」を採択します。</p> <p>それでは、次に図画工作についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、日本文教出版でございます。協議会が日本文教出版を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p>
[川中次長]	<p>図画工作について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「主体的な学びに向けて、目当ての表示はどんな工夫があるか？」との質問に対して、「日文は、板形式の形で、この単元のこの題材の目当てが表記されており、開隆堂は、子どもの活動の中に、学習の目当てを表記している。どちらの教科書においても目当てがはっきりわかるように、子供たちがどこを目指すのか、ゴールはどこなのかがわかるように、工夫された表示になっている。」とのことでした。</p>
[教育長]	<p>はい、ありがとうございます。事務局の方から説明通り協議会は日本文教出版を選定しましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。</p>
[橋本委員]	<p>八幡市は、ユニバーサルデザイン化構想等々ユニバーサルデザインには非常に鋭敏でユニバーサルデザインの視点が、日文が、全ての児童が等しく学べるようなカラーコントラストや文字の背景色など工夫されていると思いました。それから、思考力、判断力、表現力の育成を図るというための配慮としては、5・6年の下巻に情報の受信、発信における情報モラルについて説明するコーナーがあって、これは表現の上でも、思考力判断力を育成する上でも必要なことだと思いました。</p>
[教育長]	<p>ありがとうございます。他の委員の方々何かありますか。</p>
[人見委員]	<p>日文は、従来に比べて、作品例というよりは、子供たちのその姿、写真が結構多く掲載されていて、自分の振り返りもできるのではないかと、また、具体的にどうするかも主体的に学べるのではと思いました。製作意欲にもつながるのではと考えています。保護者へのメッセージという部分があったり、平和学習でゲルニカの教材というのも、観点としてはすぐれた部分じゃないかなと思います。鑑賞というところでも、すぐれているのではないかなというふうなことを感じております。</p>
[教育長]	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは、図画工作について日本文教出版・「図画工作」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《委員全員挙手する。》</p> <p>全員一致で日本文教出版・「図画工作」を採択します。</p> <p>それでは、次に家庭科についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、開隆堂でございます。協議会が開隆堂を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p>
[川中次長]	<p>家庭科について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「生活に生かす視点は具体的にはどのような内容か？」との質問に、「開隆堂の方が、具体的に示されていました。実行している自分の仕事であるとか、家族がしている仕事、これから自分ができる仕事等と具体例が挙がっていました。」</p> <p>「QRコード」については、「東京書籍は、一番最初に一つ印刷してあるだけで、全体の目次に入り、そこからそれぞれの単元を順番にいかないと、そのコンテンツに行き着かないが、開隆堂のほうは、もうそれぞれの単元に直接入るので、見たい画像が非常に素早く探せるのではないかと思う。」との回答でした。特に実習時には有効だとの話でした。</p>
[教育長]	<p>はい、ありがとうございます。事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。</p>
[佐野委員]	<p>開隆堂のほうは、イラストや写真がうまく使われていて、大変児童が興味を持てるように思います。子供たちに、自分自身の身近な家庭の問題として、様々な問題がうまく位置付けられ、意識するような内容の本になっているという感じがします。それと、ページが大きく、</p>



	<p>1ページじゃなくて2ページ見開きで見やすくなっていますので、その点もよいと思いました。</p>
[教育長]	<p>ありがとうございます。他の委員の方々何かありますか。</p>
[人見委員]	<p>家庭科は、私たちが生きる上で一番大切な衣食住について、将来自分で何でもできるように基礎からしっかり学んでほしい教科です。そのために実習が重要であると思っております。そんな中で、ICT環境が整う中で、子供たちがスマホやタブレットで、QRコードで、実習中ですぐにそれを確認できるという意味で言えば、開隆堂のほうが適切ではないかと考えております。</p>
[教育長]	<p>QRコード等々開隆堂のほうが適切ではないかという意見が出ております。それでは、家庭科について開隆堂・「小学校 わたしたちの家庭科」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。 《委員全員挙手する。》 全員一致で開隆堂・「わたしたちの家庭科」を採択します。</p>
[川中次長]	<p>それでは、次に保健についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、東京書籍でございます。協議会が東京書籍を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p> <p>保健について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「今日的な課題である性の多様化への配慮は？」との質問に対して、「以前の教科書だと、異性のことが気になるかというような表現があったが、東京書籍は、心の変化はその異性を好きになることでイコールではないということも踏まえ、考えさせる欄を設けている。他の教科書も異性を好きになるというのが当たり前のような感覚では書いていない。」とのことでした。</p> <p>また、「運動に親しむ態度を養うことに配慮しているものは？」との質問に対しては、「生涯を通して運動していくというような点は、オリンピックや高齢者の大会、障害者の大会等は触れてはいるが、運動でどうすればいいのかは、ほとんど、深められていないので、課題だと思う。」とのことでした。</p> <p>あと「東書の書き込み欄の評価は？」との質問に「書き込み欄は、他社の場合、2行とか3行とか、ページ半分以下だが、東京書籍は、どの单元でもほぼ半分ページ、1ページ分ほどあるので、授業でも、ノートとしても書き込みに使いやすいというのが特徴である。また、担任の授業の準備にも、活用しやすいのでは。」との回答でした。以上です。</p>
[教育長]	<p>事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。</p>
[佐野委員]	<p>東書は、学習の進め方をステップ1からステップ4までと、構成が統一されており、学習課程がわかりやすいと思えました。あと、ページ数や資料の内容量が他社よりすごく多くて、今日的な健康課題とか、エイズとか防犯についての資料も、多くありよいのではないかと思います。</p>
[教育長]	<p>ありがとうございます。他の委員の方々何かありますか。</p>
[橋本委員]	<p>性の扱いは、現在非常に繊細で難しいと思います。なので、東書は、他の教科書会社と違い、異性を好きになるのは人間として当然という基本的な姿勢を出している部分に非常に興味を持ちました。また、書き込み欄のスペースが非常に広くて、ほぼ資料をもとに1ページを書き込む欄があって、若い先生方でも授業の中で、主体的・対話的・深い学びのワークシートとしても使いやすいような教科書ではないかと思えます。</p>
[教育長]	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは、保健について東京書籍・「新しい保健」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。 《委員全員挙手する。》 全員一致で東京書籍・「新しい保健」を採択します。</p> <p>それでは、今年が初めての採択になる外国語についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、東京書籍でございます。協議会が東京書籍を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p>
[川中次長]	<p>外国語について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが「調査員の中で子ども</p>



の理解が進むと思う候補は？」との質問に対して、「実際に調査員の中で自分が使うならば、との観点で見た場合、東京書籍、学校図書、開隆堂の3冊で、ページの構成がパターン化されており、モジュールにも対応しやすいこと。また、活動量も適切であること、また東京書籍は、別冊の単語集がよくできていること。」を上げておられました。

「今までの外国語活動との関連やつながりについては。」との質問に対して、「どの教科書でも、巻頭でこれまでの学習の振り返りを利用しているので、これまでの学習内容をつないだ形で学習に入っていける。」とのことでした。

「文字の学習や中学校とのつながりは。」との質問については、「文字は、なぞり書き、それから写し書き、自分で書くといった流れで、書くことについてのそのハードルを低くしてあるのが、学校図書や開隆堂で、東京書籍は、單元ごとにも書く活動はあるが、別に、巻末に書くことに特化したページを設けている。文字については、4線の幅に配慮したり、中学校の教科書に合わせた4線の幅にしている工夫もある。」とのことでした。

「ピクチャーディクショナリーの有効性」については、「教科書に単語の掲載ページや関係性が書かれているので、活用しやすい。動作をあらわす言葉等グループで分かれているので、見つけやすく探しやすいので、表現にも活用できる。」とのことでした。

「教える先生にとってやりやすいものは。」との質問には、「光村は、教材のやり取りの動画があり、自信のない先生でも、見せながら一緒に練習ができる。各教科とその英語以外との教科とのつながりや世界の子どもの様子が示されていて、子どもの世界を広げられる。」とのことでした。

「報告書にある必然性とはどういうことか？」との質問には、「東京書籍の会話文は、不自然なところがなく、何かこう話しやすい、よりスムーズな流れだった。」とのことでした。

以上です。

[教育長]

はい、ありがとうございます。事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。

[橋本委員]

英語が教科化になることが非常に注目されています。各社とも色々研究されていると思います。英語を身につけるのは、指導との関係が重要で教科書ごとに指導方法が変化すると思います。コミュニケーション能力を進めるために如何に言語活動を取り入れて英語のコミュニケーション能力を高めていくか。東京書籍は、教材の文章が色付きの線で囲まれていて、教える側も学習する側も、分かりやすくなっていること。ピクチャーディクショナリーが表現活動にも活用しやすいこと。世界を題材に世界に目を開こうとしていること等の理由でよいのではないかと思います。

ピクチャーディクショナリーが、辞書と違って、日本語を介さずに、絵からいきなり英語が入ってくるので、小学生でも使いやすいのではないかと思います。しかも名詞だけではなくて、動詞や形容詞も絵で表現されていて、これで数百個の単語が、小学校のうちに定着するのなら、非常に価値があると思いますので、これはすごく活用でき小学生の英語嫌いを防げるのではと思いました。

[松下委員]

今まで小学校の3年生～6年生で外国語活動を行ってきましたが、外国語活動では、聞く、話すで、読み書きがありません。この活動の3年生、4年生部分は現行のまま残り5年生、6年生部分が教科となり読み書きが入ります。追加される読み書きの書くことはかなり抑えられています。一つ目はアルファベットを書く、二つ目は簡単な文章を書き移す、三つめは簡単な自己表現を行うという程度に抑えられています。これらを考えると外国語活動の延長線上に位置していると考えられます。東京書籍では、聞く、話す、の話す部分を会話部分と発表部分に分けて考えてみると会話の部分が非常に多く対話を重視しています。書くについても他社より欄が多いです。ピクチャーディクショナリーが非常に良くできています。また中学校との系統性も考慮し東京書籍を推薦します。

[教育長]

はい、ありがとうございます。両委員から経験的な部分を踏まえた意見だったと思います。それでは、外国語について東京書籍を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。



《委員全員挙手する。》

全員一致で東京書籍を採択します。

次に特別の教科道徳についてよろしくお願ひします。協議会の選定は、学校図書でございます。協議会が学校図書を選定した理由を事務局から説明をお願いします。

[川中次長]

特別の教科道徳について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「道徳ノートなどの分冊について」の質問に対しては、「経験の浅い先生からベテランの先生まで、全ての先生が使うという視点で見たときに、道徳ノートの類いのものがないよりは、あったほうが、やっぱり授業としては進めやすい。学校図書、日本文教出版、廣濟堂あかつきの3社が、そういうものがある。その中でも学校図書は、同じ内容項目でまとまっているが、教材ごとに書いていくというスタイルで、コラムがついている。廣濟堂あかつきは、同じ内容項目の教材は、書くスペースは一つとなっている。日本文教出版は、1時間1時間で書くスタイルで、内容項目でつながっていない。」とのことでした。

「内容項目や価値について書いてあるほうがいいのか。」の質問に対しては、「学校図書は、教材文だけなので、内容項目や価値に気づきにくいですが、同じ道徳ノートには、発問や内容項目が書いてあり、使い方によってはどちらにも対応できる。研究を一生懸命やっている先生にすれば、何も無いほうが良いし、最初から目当てを提示し、ノートを使うことによって見通しを持ちながら学習を進めていくこともできる。様々なニーズに対応しやすい。」とのことでした。

「いじめについてどのような扱いか？」との質問には、「全ての会社について、生命、尊重、いじめについては、重点化して扱われている。直接的ないじめの教材から、そこにつながるような間接的な扱いになるような教材等8社すべて、大事にされている。また、学校図書は、教材の配列が、1年間の学校生活に合わせてあり、子ども達の成長や生活に合わせて、総合単元的な道徳の実践がしやすくなっている。」とのことでした。

「問題解決的な学習や体験的な学習に配慮しているものは？」との質問には、「議論する道徳と言われているので、議論になるような扱いがあり、問題解決や体験型も、どの教科書会社にもある。廣濟堂あかつきは、読み物にかなり主体を置いているので、少し薄いかも。」とのことでした。

「発問について」の質問では、「子供の実態によって発問は変わると思う。その時に教科書や道徳ノートに発問が最初から書いてあるとやりにくいですが、工夫はできると思う。道徳ノートは使わずに、全部ワークシートを毎時間つくって、それをポर्टフォリオとして残していくこともある。発問が、授業を縛ってしまうという点があるのも事実だが、道徳ノートなどの発問を使うことで、平均的な授業はできるのではないかと思う。どちらにも対応できるという意味で、教材文のほうにはないけれども、道徳ノート側にあることが良いのでは。」との回答でした。

以上です。

[教育長]

はい、ありがとうございます。道徳につきましては、従来日本文教出版を使っていましたが今回、学校図書の方を採択しています。事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございませんか。

[松下委員]

現行の道徳は、教材を読んで思ったこと、考えたこと、話し合ったことをノートに書いてまとめます。学校図書は、先入観なしに、自分に気づくことができるような読み物の部分と、学びの部分に分けてあるので、それが可能かと思いました。また、若い先生方には、学びのノートの方を使って、目当てや内容項目をはっきりとさせて授業することができるので、よいと思います。また、学びのノートは、違うところで学んだことを、同じページに書くことによって、自分の成長に気づくことになっているので、自分の成長や変化を子ども自身で感じることができるのもよいと思います。今回、ノートを充実させノートを含めた道徳の教科書として学校図書が良いという山城の考え方を支持します。

はい、ありがとうございます。他は、如何でしょうか。

[橋本委員]

日本文教出版との大きな違いとしては、学校図書の教科書は別冊になっているところだと



<p>[教育長]</p>	<p>思います。道徳教育の重要性が言われ、様々な指導法が求められている中で、学校図書の教科書は、教材だけのシンプルなものです。だから、指導者の工夫次第でより児童に合った授業ができるのではと思います。議論する道徳とか、考える道徳という視点からも、内容項目や価値やあらすじ等の飾り物がないほうが、よいのではと思います。そのほうが、主体的に考えることができるのではと考えています。それから、若い先生方でも学びのノートを使うことで、一定の質の担保はできていることから、主体的に考える道徳を一つのチャレンジとして学校図書が良いのではと思いました。</p> <p>はい、ありがとうございます。協議会議論や先生方のご意見、価値項目が示されていない事や道徳ノートが別冊になっており、先生方がどのように活用し道徳の授業を行っていくかを本市としても考えなければいけない課題だと思っています。</p> <p>それでは、道徳について学校図書・「かがやけみらい 小学校道徳」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《委員全員挙手する。》</p> <p>全員一致で学校図書・「かがやけみらい 小学校道徳」を採択します。</p> <p>お疲れさまでした。</p> <p>教科書採択にかかる本日の協議は、全て終了いたしました。</p> <p>ここで、事務局のほうで確認をお願いします。</p>
<p>[川中次長]</p>	<p>それでは、本日の協議の結果につきまして、報告をいたしますので、御確認のほど、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>まず初めに、令和2年度使用の中学校教科用図書につきましては、前回と同じ教科書を採択することといたします。</p> <p>次に、令和2年度以降の使用する小学校教科用図書につきましては、教科、発行所の順に申し上げますので、確認のほど、お願いします。</p> <p>国語、光村図書、書写、東京書籍、社会、日本文教出版、地図、帝国書院、算数、啓林館、理科、啓林館、生活、啓林館、音楽、教育芸術社、図工、日本文教出版、家庭、開隆堂、保健、東京書籍、英語、東京書籍、道徳、学校図書、以上の結果となりました。</p>
<p>[教育長]</p>	<p>それでは、令和2年度以降使用小学校教科用図書及び令和2年度使用中学校教科用図書に係る採択についての協議は終了します。</p> <p>続いてその他に移ります。</p>
<p>[山中課長]</p>	<p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none">◦ 6月分議事録(写)の配付◦ 市立各幼稚園、小・中学校令和元年度運動会・体育大会出席者(案)について <p>以上2点を配付しております。</p> <p>4. 閉会</p> <p>以上で本日の委員会は、終了いたします。</p> <p>※次回定例教育委員会 日時：9月17日(火曜日)(午後3時から) 場所：会議室A</p> <p>※学校訪問先は有都こども園(10:30)と有都小学校(11:30)です。</p>